



河南町ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界各地では異常気象が発生し、国内においても猛暑や豪雨による自然災害が頻発するなど、地球温暖化が一因とみられる気候変動の影響が顕著化しており、生物多様性の保持を脅かす「気候危機」と言うべき深刻な状況となっております。

2015年に合意されたパリ協定では「産業革命前からの平均気温上昇を2度未満とし、1.5度に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。そして、この目標を達成するために「2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにする必要がある」と示されています。

河南町は、金剛・葛城の山並みと田園風景が広がる豊かな緑に恵まれ、水越川や梅川等の清らかな流れに育まれた、潤いと安らぎのある自然豊かなまちです。次世代のためにも、将来にわたり持続可能な循環型社会、脱炭素社会を形成するため、2050年を目途に町内の二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指す、「ゼロカーボンシティ」を実現するための取組を住民や事業者の皆様と一体となって推進することをここに宣言します。

今後、この目標が実現できるよう取り組んでまいります。

- ・再生可能エネルギーの普及促進に取り組みます。
- ・地球温暖化防止や気候変動問題の環境教育、啓発活動に取り組みます。
- ・ゴミの減量化、分別再資源化、プラスチックゴミ削減に取り組みます。
- ・自然環境の保全に取り組みます。

令和4年3月24日



河南町長

森田昌吾